

平成25年12月八峰町議会定例会会議録（第1日）

平成25年12月11日（水曜日）

議事日程第1号

平成25年12月11日（水曜日）午前10時開会

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 発議第19号 八峰町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第5 議案第110号 八峰町諸収入金の督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第6 議案第111号 八峰町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第7 議案第112号 八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 第8 議案第113号 八峰町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第9 議案第114号 財産の無償貸付について
- 第10 議案第115号 工事請負契約の締結について
- 第11 議案第116号 平成25年度八峰町一般会計補正予算（第8号）
- 第12 議案第117号 平成25年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）
- 第13 議案第118号 平成25年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 第14 議案第119号 平成25年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第1号）
- 第15 議案第120号 平成25年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 第16 議案第121号 平成25年度八峰町営診療所特別会計補正予算（第3号）
- 第17 陳情第10号 「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」改正を求める意見書採択についての陳情
- 第18 陳情第11号 日本国憲法をいかし、安定した雇用の実現を求める陳情

- 第19 発議第 20号 日本国憲法をいかし、安定した雇用の実現を求める意見書の提出について
- 第20 陳情第 12号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
- 第21 発議第 21号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について
- 第22 陳情第 13号 介護職員の処遇改善を求める陳情書
- 第23 発議第 22号 介護職員の処遇改善を求める意見書の提出について
- 第24 陳情第 14号 医療・介護など社会保障の充実を国に求める意見書提出を要請する陳情書
- 第25 陳情第 15号 「特定秘密保護法案に反対する意見書」についての陳情書

出席議員（14人）

1番 松岡清悦	2番 見上政子	3番 柴田正高
4番 丸山あつ子	5番 門脇直樹	6番 腰山良悦
7番 皆川鉄也	8番 福司憲友	9番 山本優人
10番 佐藤克實	11番 阿部栄悦	12番 鈴木一彦
13番 芦崎達美	14番 須藤正人	

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

町長	加藤和夫	副町長	伊藤進
教育長	千葉良一	総務課長	田村正
会計課長	小林慶範	企画財政課長	武田武
町民生活課長	金平公明	福祉保健課長	大高伸一
管財課長	佐々木充	税務課長	田村功
教育次長	小林孝一	生涯学習課長	金田千秋
産業振興課長	須藤徳雄	農林振興課長	佐々木喜兵衛
建設課長	田村博	幼児保育課長	日沼正明
農業委員会事務局長	米森博孝	学校給食センター所長	木村学

議会事務局職員出席者

議会事務局長 鈴木久明 書記 船山厚子

午前10時00分 開 会

○議長（須藤正人君） おはようございます。

これより平成25年12月八峰町議会定例会を開会します。

ただいまの出席議員数は14名です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第124条の規定により、9番山本優人君、10番佐藤克實君、11番阿部栄悦君の3名を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。

会期等につきましては、議会運営委員会に諮問し、意見を求めていますので、その結果を議会運営委員会委員長より報告願います。佐藤議会運営委員会委員長。

○議会運営委員会委員長（佐藤克實君） おはようございます。議会運営委員会委員長の佐藤でございます。

ご報告申し上げます。

当委員会では、去る11月5日及び12月5日の両日、議長同席のもとに、全委員出席し議会運営委員会を開き、10月29日付けで議長から諮問のあった平成25年12月八峰町議会定例会の議事日程等、議会運営に関する事項について協議いたしました。

その結果、本定例会の会期については本日から13日までの3日間とし、日程等については皆さんのお手元にお配りした日割表及び議事日程表のとおり決定しましたので、ご報告いたします。

○議長（須藤正人君） お諮りします。本定例会の会期は、ただいまの議会運営委員会委員長の報告のとおり本日から13日までの3日間としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 異議なしと認めます。したがって、今定例会の会期は本日から13

日までの3日間に決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

加藤町長より発言を求められておりますので、今議会提出議案の提案と併せて報告願います。加藤町長。

○町長（加藤和夫君） 皆さんおはようございます。

本日、平成25年12月八峰町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様にはご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

それでは、提出諸議案の説明に先立ち、9月定例会以降の町政及び諸般の動きについて、その大要をご報告申し上げます。

はじめに、平成26年度当初予算編成について申し上げます。

国は「経済財政運営と改革の基本方針」を平成25年6月に閣議決定し、「デフレからの早期脱却」と「再生の10年」に向けた基本戦略として、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を一体的に展開することで、強い日本、強い経済、豊かで安心・安全な生活の実現を目指しており、昨今の月例経済報告では、「景気は緩やかに回復しつつある」と述べておりますが、地方においては、それを実感できる状況にはなっていないと言われております。

国の平成26年度予算概算要求基準では、年金・医療、東日本大震災復興対策に係る経費を除く基礎的財政経費については、前年度当初予算から10%削減した範囲内で要求することとされた一方、「新しい日本のための優先課題推進枠」が設けられ、各省庁からの概算要求総額は過去最大となる99兆円を超えると予測されております。

また、地方財政においては、国の財政フレームに基づき、「地方の安定的な財政運営に必要な一般財源は確保する」としながらも、地方交付税においては、対前年比1.8%減の方針で、加えてリーマンショック後に別枠で加算されている1兆円の廃止・縮減も協議されております。

さらに、消費増税に絡んで法人税及び自動車関連税などの税制改正の方向も定かではなく、医療、福祉、介護及び年金などの社会保障費をはじめ、農業施策、消費増税に伴う景気浮揚施策なども指針が示されず、当町の平成26年度の予算編成においては、今後の国・県の動向を注視しながら臨機応変に対応しなければならないものと考えております。

予算編成の基本方針としては、事務事業の徹底的な見直しとともに、町民の意見、要

望などを踏まえ、地域経済を支える地場産業の振興と雇用の確保・創出などに配慮し、町全域の均衡ある発展と町民福祉の向上に繋がる予算編成を行うことを念頭に、今後発表される地方財政対策などとの整合性を図りながら、2月中旬までに新年度予算の原案を取りまとめたと考えております。

次に、秋の行政協力員会議を11月15日峰栄館で開催し、各自治会から出された道路改良などの要望52件について、それぞれ町の考え方を示し、意見交換を行ったところであり、

要望に対する意見交換のほか、町からは町道の冬期間閉鎖箇所や小型除雪機械の貸出事業などを説明し理解を深めていただきました。

次に、路線バス関係の補助事業についてであります。昨年10月から今年の9月末までのバス乗車券類購入補助事業につきましては、購入件数は、910件、販売額は444万3,000円となっており、前年に比べ販売件数で18件減少したものの、販売額では29万5,000円伸びており、順調に利用されているものと思っております。

また、秋田県生活バス路線等維持費補助金につきましては、運営収支がまとまり、補助金額が確定しましたが、燃料費の高騰や車両維持費の増額などで経常費用の低減が進まず、補助金の申請額は、大久保岱線で若干減額となったものの、岩館線は前年に比べ79万円の増加となっております。本定例会にこの関連の補正予算を計上しておりますので、よろしくお願いいたします。

11月9日、峰浜中学校体育館において第4回八峰町交通安全大会を開催しました。

この大会は隔年で実施しているもので、町民や能代警察署、交通安全関係団体などから約150人が出席し、飲酒運転や無謀運転の徹底追放などを掲げた大会宣言を採択し、功労者表彰、児童生徒の交通安全優秀作文発表なども行い、交通安全意識の高揚を図ることができました。

また、交通安全教育車「まもるくんとあいちゃん号」によるシミュレータ体験を行ったほか、アトラクションとして県警音楽隊による演奏も行い、参加者からアンコールの声がかかるなど、有意義に大会を終了することができました。

当日ご参加いただきました町民の皆様や、ご来賓の議長はじめ議員の皆様には厚くお礼申し上げます。

次に、秋の火災予防運動期間の初日の11月3日に、石川地区において消防総合訓練を実施しました。

住民による火事ぶれと119番通報、バケツリレーによる初期消火活動に続いて、消防団員と八峰消防署員による火災防御訓練を行い、最後に、水消火器による消火訓練を行って訓練を終了しました。

朝早く寒い中、100人以上の方々から参加していただきました。ご協力くださった石川自治会をはじめ町民、消防団、消防署の皆様には心からお礼申し上げます。

毎日暖房器具が使用されるようになり、火災も心配される時期になりましたが、町民と一体となった防火に努めてまいります。

次に、自殺予防対策事業について申し上げます。

10月26日に文化ホールにおいて「八峰町自殺予防フォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、「ブラボー流 一番の幸せとは・・・」と題して自身の感じる幸せについて、マジックを交えながら講演をしていただきました。その後「笑顔」をテーマにしたフォトコンテスト表彰式、ミニコンサートなどが行われ、「笑顔がこぼれるやすらぎのまち」づくりを目指すことを再確認しながらフォーラムを終えることができました。

開催に当たっては、陽だまりの会、民生児童委員協議会、ふれあいネット会議、のんき会のご協力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

今後とも自殺者ゼロの町を目指し、関係機関や団体等と連携しながら自殺予防対策事業に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、今期のハタハタ漁についてであります。県と県内4漁協で組織する「秋田県ハタハタ資源対策協議会」では、今期の漁獲可能量を昨年より780t少ない1,920tに、配分は例年どおり沿岸が6割、沖合が4割に決定したほか、初漁日は10月29日の前後3日間とし、雄雌ともに中型が主体だが、小型も比較的多いとする漁況予報を示しました。

11月25日の季節ハタハタ漁解禁後の本町の状況であります。11月29日に八森漁港で約0.5tの初水揚げがあり、30日には岩館漁港も加わったことから、漁港周辺は一気に活気づき、土・日開催のはちもり観光市も多くの買い物客で賑わっておりました。

季節ハタハタ漁も本番を迎えておりますが、本町の産業に好影響を及ぼすような結果となるよう、大いに期待するところであります。

次に、「自然」、「食」、「温泉」などをテーマに、10月1日から3か月間の日程でスタートした「秋田デスティネーションキャンペーン」についてであります。本町関連イベント第1弾として、はっぼう“んめもの”まつり実行委員会主催の「秋の収穫祭」

が10月5日・6日の2日間、道の駅みねはまを会場に開催されました。両日とも天候に恵まれたほか、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で有名になった久慈のまめぶ汁の出店もあり、来場者は昨年を大きく上回る約2万4,000人であったと伺っております。

また、毎年開催しておりますルート101観光連絡協議会主催の「国盗りあみ引き合戦」であります。今年も青森県側が勝利し、観光的県境は、道の駅「お殿水」まで南下することになりました。

10月12日・13日の1泊2日の日程で「まるごと八峰自然体験ツアー」を第2弾イベントとして開催しましたが、宮城県など県内外から来町した27人の参加者は、二ツ森、留山のブナ林散策や峰浜梨のもぎ取りなど、本町ならではの体験メニューに大満足であったと伺っております。

今後は、アンケート結果などを参考に、さらに体験ツアーの内容を充実させるとともに、旅行会社への売り込みも実施してまいりたいと考えております。

また、現在、第3弾イベントとして「八峰町ハタハタまつり」を町内のホテル、民宿、食堂など13店舗が参加して12月31日までの期間で開催しており、ハタハタ漁で注目される本町を、さらに「食」という切り口で大いにPRしたいと考えております。

なお、11月30日と12月1日に東京築地本願寺前広場を会場に開催された「秋田鳥取うまいぞ！ハタハタフェスティバル2013」の新企画、「HATA-1グランプリ2013」では、八峰町ブースで販売した八峰町関東ふるさと会の「本場ハタハタ入りしょつつる鍋」が見事グランプリを獲得したほか、本町鈴木水産の「ハタハタメンチカツ」も2位となり、「ハタハタの里八峰」を全国に売り込むことができました。

八峰町関東ふるさと会の神馬会長はじめ関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

次に、農林業関係について申し上げます。

最初に、平成25年産米の作柄概況及び平成26年産米の生産調整について申し上げます。

農林水産省が10月30日に発表した25年産米の作柄概況ですが、作況指数は全国が102、東北が103の「平年並み」、秋田県は昨年と同じく100の「平年並み」となっております。

今年は生育期間を通しておおむね天候に恵まれ、登熟もおおむね順調に推移してきましたが、台風の影響などもあり、県北地域の作況指数は昨年と同じく99の「平年並み」となったところです。

このような作柄概況を踏まえ、農林水産省は11月29日、平成26年産米の都道府県別の生産数量目標を発表しました。

全国の生産数量目標は、平成24年産米の需要が全国的に落ち込んだことや、平成25年産米が豊作基調となったことなどにより、相当程度の過剰在庫の発生が見込まれることから、前年より26万t減少し765万tとなりました。秋田県は前年より1万3,390t減少し、43万3,040t配分されました。面積換算すると前年より2,340ha減少し、7万5,570haとなり、前年より転作目標面積が増える結果となりました。

今月下旬に県から市町村別生産数量目標が示される予定ですが、来年1月中に八峰町農業再生協議会を開催し、配分方針などを協議・決定していただき、農家への配分作業を進めてまいります。

次に、経営所得安定対策交付金の支払い状況について申し上げます。

10a当たり1万5,000円交付される「米の直接支払い交付金」と大豆やソバ、野菜、加工用米などに交付される「水田活用の直接支払い交付金」は、11月27日と12月6日に交付されました。

「米の直接支払い交付金」は、526件の農家や法人に1億5,430万円交付され、「水田活用の直接支払い交付金」は、249件の農家や法人に1億3,530万円が交付されました。合計額は2億8,960万円で、前年度より約1,000万円多く交付されました。

また、大豆やソバなど出荷数量に応じて支払われる「数量払い交付金」は、来年2月に受付・申請し、年度末に交付される計画となっております。

次に、菌床シイタケの生産状況について申し上げます。

菌床シイタケの栽培は、12月から1農家が増え、8農家が22棟で栽培しているほか、峰浜培養が10棟で栽培しています。

販売については、10月末までの精算が終わり、規格別販売状況がまとまったところです。それによると、A品とB品を合わせた秀品率は、月別、平均で見ても約7割と高く、品質が高い品種で収穫量も比較的安定しております。

5月から10月までの100g1パック当たり平均単価は88.1円となっており、販売総額は2億4,400万円強となっております。お盆以降、単価が上昇し、良好な販売状況となっておりますが、現在約3割を占めるC品や規格外品をいかに少なくするか、今後の課題となっております。

また、峰浜培養の経営状況についてですが、9月末で上半期の事業が終了したことから監査を行い、そのデータを基に下半期事業を精査・検討し、今年度の仮決算計画書を作成しております。

それによると、施設10棟によるシイタケ販売部門については、初年度ということで設備投資や経費のかかり増しがあり、年間を通した収支では赤字決算の見込みとなっております。しかし、ホダ製造・販売部門については、町内農家への供給のみならず、県外への販売強化により収益の増加が見込まれることから黒字決算の見込みとなっております。両部門を合わせた会社全体の仮決算としては、黒字決算の見込みとなっております。

次に、生薬の試験栽培状況について申し上げます。

生薬の試験栽培は、今年度から町の農園で開始したところですが、栽培品目はカミツレ、ウイキョウ、トウキ、センブリ、キキョウ、セネガ、オタネニンジン、カンゾウの8種類です。これらの生薬は、収穫できるまでの期間が1年から5年くらいまでと様々であります。

トウキとセネガは6月に播種したものの芽が出ない結果となり、果たして町に適するかどうか、全品目について収穫するまでの検証が必要であります。

収穫までの期間が比較的短いカミツレとウイキョウ、キキョウについては、今年の栽培で若干の種子を採取することができました。来年はこの種子を基に栽培面積を増やし、種子を確保した上で、なるべく早い機会に農家の方々の栽培につなげていきたいと考えております。

農林水産省では、薬用作物の試験栽培などを通じて新たな産地を創出し、国内生産量を拡大しようと、平成26年度から新規事業として「薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業」の概算要求をしていると聞いております。町の試験栽培が補助事業として実施できるものと期待をしているところです。

次に、ミズナラ林更新伐事業について申し上げます。

間伐により老齢木を伐採して森林の若返りを図り、ナラ枯れ被害に強い広葉樹林を育成するため、ナメトコ沢の町有林で国庫補助事業を活用した更新伐事業を計画しましたが、農家の方々から水枯れの心配があるので切らないで欲しいという意見があったことから、10月15日と29日、11月5日の計3回、農家への説明会を開催し、間伐事業の趣旨を説明するとともに、農家の率直な意見を聞いたところです。

その結果、「ナラ枯れにかかっていないのに切るのは納得できない。水枯れになるので切らないで欲しい。」などの意見が多かったことから、更新伐事業への十分な理解が得られていないと判断し、中止を決定した次第です。

今後については、ナラ枯れの状況や事業への理解が得られるようであれば、再度検討

したいと考えております。

次に、林業施設災害復旧事業について申し上げます。

9月15日・16日に発生した台風18号の大雨により、林道では路肩の決壊や洗掘、法面の崩落など、12路線24か所で被害が発生しました。このうち、林道塙線1か所と林道母谷山線1か所については、国の災害復旧事業として県に申請し、12月4日に査定を受けたところです。本定例会に関係予算を計上しておりますので、よろしく願いいたします。

次に、今冬の除雪についてであります。去る11月19日に八峰町除雪会議、また、26日に除雪機械運転者会議を開催し、町及び除雪関係業者で今年度の除雪基準や除雪体制及び注意事項などについて打合せを行っております。

今年度は、業者1社が減となり、2路線が新しいオペレーターでの除雪になりました。全ての運転者には、降雪前に路線状況や障害物などを確認し、安全運転に努めるよう指導しております。

一般的な除雪に関しては、午前7時までの完了を目指して出動するとともに、相互の連携、凍結抑制剤の散布、わだち路面の修復、拡幅除雪と運搬排雪を適宜に行い、道路交通の確保と安全を図ってまいります。

また、今年4月以降の人件費や軽油などの値上がりで、当初予算の除雪費に不足が見込まれるため、本定例会に関係予算を計上しておりますので、よろしく願いいたします。

次に、住宅リフォーム緊急支援事業についてであります。当町における11月末現在の予算執行件数は91件、1,816万2,000円となっております。

これまでの予算執行が9割以上になっており、地域経済の活性化のため、当該事業を継続してまいりたいと考え、本定例会に関係予算を計上しておりますので、よろしく願いいたします。

次に、八森地区簡易水道事業についてであります。今年度の整備計画で残っておりました観海地区取水施設築造工事の入札を11月28日に執行しており、平成25年度の計画工事はすべて発注になりました。本定例会に取水施設築造工事の請負契約案を提案しておりますので、よろしく願いいたします。

次に、ICTを活用した公開授業とフォーラムについて申し上げます。

当町の3小学校では、平成23年度から5年生を対象に、平成24年度からはそれを6年

生まで拡大して、タブレットと電子黒板や様々な情報機器を用いた、いわゆるICTを活用した実証実験をNTTグループとの連携で行ってまいりました。

さらに、今年度は小学校と中学校の全学年、全教室に大型電子黒板とデジタル教科書を導入し、これまでの先行実践を参考に、学力向上のためにICTの日常的な活用のあり方を模索し始めたところでもあります。これは全国的に見ても画期的な最先端の取組と言える施策であります。

今年度はNTTとの連携事業の最終年度であるため、これまでの実践の成果の確認及び今後のICT活用の方向性を探るために、11月23日土曜日、八森小学校を主会場とした公開授業と「確かな学力向上につながるICT活用のあり方」をテーマにしたフォーラムをファガス文化ホールにおいて、秋田県では初めて計画・開催いたしました。

当日は、県内外から教育関係者を中心に約220名もの参加をいただき、成功裏に終了したところであり、ICTを活用することに対する関心が非常に高いことを伺い知ることができました。

当日は、八森小学校に水沢小と埴川小からのクラスも参加し、全部で8クラスの授業を公開しました。学年によっては2学期から初めてICTに触れたクラスもありましたので、その限られた期間に努力して立派に公開授業をされた先生方に対しましては、心から厚く感謝申し上げます。

なお、フォーラムでは、色々貴重な意見を賜りましたが、授業におけるICTの活用について、現状ではまだまだ試行錯誤の段階であります。我が町は、幸いほかに先駆けて設備の導入を完了することができましたので、今後さらに活用方法の改善を図り、児童生徒の能力向上のため、効果的に役立てていただければと大いに期待しているところでもあります。

次に、第8回町民文化祭について申し上げます。

展示部門は、11月2日から4日までの3日間にわたり、峰栄館とファガスを会場に開催され、小・中学生、芸術文化協会、生涯学習講座受講者、一般の方々及び社会福祉施設利用者などから書道、絵画、墨絵、俳句、写真、生け花、手芸など1,400点あまりが出品され、多くの町民の方々から鑑賞していただきました。

また、11月3日の日曜日には、峰浜中学校を会場に芸能発表会を開催しました。今年は、17団体5個人による延べ240名あまりが出演し、峰浜中学校吹奏楽部の演奏を皮切りに、太鼓、踊り、大正琴、カラオケ、コーラス、峰浜中学生有志によるバンド演奏など

27演目が披露され、日頃の練習の成果を思う存分発揮していただき、出演者も観客も大いに盛り上がった発表会となりました。

次に、ことぶき大学について申し上げます。

10月8日、ことぶき大学運動会を雨天により田中ミニ公園から峰浜土床体育館に変更し、296名の参加により開催しました。競技種目を昨年から大幅に変更し、多くの学生が出場できるよう工夫したり、競技色を強くした種目に変更したため、より熱のこもった運動会を開催することができました。

また、11月21日には、旧岩子小学校体育館において、317名参加のもと、健康講話並びに芸能発表会を開催しました。健康講話の講師には、秋田お笑い大使として活躍中の落語家桂三若さんをお招きし、落語を交えたご講演をいただきました。笑いの中にも健康を保つための秘訣も組み入れられ、これからの生活に大いに役立つお話を聞くことができました。桂三若さんのお話に吸い込まれ、最近こんなに笑ったことはないなど、学生の皆様に大変喜んでいただきました。

午後からは、ことぶき大学生の文化祭ともいえる芸能発表が19組の皆さんにより披露されました。ことぶき大学生の皆さんも来年は秋田県で国民文化祭が開催されることを知っておられ、国文祭を盛り上げようと日頃の練習の成果を十二分に発揮し、観覧している学生たちは感激しておりました。最後はみんなで輪になって踊り、大盛況に終わることができました。

次に、学校給食関連について申し上げます。

文部科学省主催の「生きる力」をはぐくむ食育の推進と学校給食の充実を主題として、第64回全国学校給食研究協議大会が去る10月31日・11月1日に三重県津市で開催されました。

この大会に、秋田県代表として八峰町学校給食センターが選ばれ、「地場産物を活用した学校給食の充実」について研究発表を行いました。

今回の全国大会で発表する機会を得る事ができたのは、学校給食における地場産物の使用率が、常に秋田県の上位にあり、地場産物生産者の協力、各学校の食育の実践、八峰町食育推進計画における家庭・学校・地域などの食育の推進が評価されたものと思っております。

今後も学校給食には地場産物の活用を図り、安全・安心な給食の提供に努めてまいります。

次に、あきた白神体験センターの利用状況について申し上げます。

4月から10月末までの宿泊利用者数は4,587人、日帰りを含めた総利用者数は7,437人、利用収入は1,278万円となっており、昨年度の同時期と比較すると、宿泊利用者数で約2%の増、日帰りを含めた利用者数では約5%の増となっておりますが、利用収入では約3%の減となっております。利用収入の減は体験料の減収によるもので、これは昨年度までセンターで山のガイドを雇用していましたが、今年から白神ガイドの会にお願いすることになり、その分ガイド収入が減少したためであります。

今年は、学校利用が昨年の57校から63校に増えて、宿泊研修施設として定着してきたと実感できた一方で、一般利用者やファミリー層の利用が減少しました。白神山地世界自然遺産登録20周年記念行事や秋田DCなどもあって一般利用者の入り込みを期待しておりましたが、NHKの朝の連続ドラマ「あまちゃん」や大河ドラマ「八重の桜」効果で、同じ東北でも岩手や福島に観光客が流れたものと推測しております。

これから春にかけては、誘客の難しい時期になりますが、「あきた白神」にちなんだイベントの開催や、モニターツアー等を企画してセンターのPRに力を入れるとともに、町内における各種行事や活動、交流の場としてご利用いただきながら次年度に備えてまいります。

なお、近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、子どもたちの健やかな成長にとって体験が重要であることを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する気運が高まりつつあります。

また、秋田県においては、児童生徒のたくましく生き抜く力を育むために、自然の家などにおける多泊型の宿泊体験活動を進めていく動きがあります。

このようなことから、今後、当センターの果たす役割は大きくなることが予想されるため、自然体験を中心とした各種体験活動の充実、受け入れ体制の整備、関係団体との更なる連携などを進めて対応していく所存であります。

次に、本定例会に提案しております議案の概要についてご説明いたします。

議案第110号、八峰町諸収入金の督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例制定については、地方税法の一部が改正されたことに伴い、諸収入金の延滞金の割合を改正するものであります。

議案第111号、八峰町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定につ

いては、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例改正するものであります。

議案第112号、八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定については、八峰町諸収入金の督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の延滞金等の規定を準用するため条例改正するものであります。

議案第113号、八峰町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定については、地方税法の一部が改正されたことに伴い、延滞金の割合を改正するものであります。

議案第114号、財産の無償貸付については、株式会社ニュートラスト白神に旧岩子子ども園を無償で貸し付けるため、議会の議決を求めるものであります。

議案第115号、工事請負契約の締結については、観海地区取水施設築造工事の契約締結について、議会の議決を求めるものであります。

議案第116号、平成25年度八峰町一般会計補正予算（第8号）は、5,804万9,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を65億5,551万7,000円とするもので、歳出の主なものは、生活バス路線及びマイタウンバス維持費補助金、L G W A N機器更新経費、蝙蝠淵地区共同受信施設地上デジタル放送導入工事費、灯油購入費助成金、除雪関係経費、住宅リフォーム緊急支援事業補助金、林業施設災害復旧事業関係経費の追加などであります。

議案第117号、平成25年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）は、6,614万6,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を11億1,750万4,000円とするもので、歳出の主なものは、介護サービス等諸費、介護予防サービス等諸費、高額介護サービス費など保険給付費の追加と、償還金、操出金、予備費の追加であります。

議案第118号、平成25年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、3万8,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を8,324万7,000円とするもので、通信運搬費を追加するものであります。

議案第119号、平成25年度八峰町沢目財産区特別会計補正予算（第1号）は、324万7,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を730万4,000円とするもので、立木売払収入などを関係地区に交付するものであります。

議案第120号、平成25年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）は、111万3,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を6億7,254万6,000円とするもので、歳入については、町道改良に伴う水道管移設工事補償費を追加して、歳出については、一般管理費の追加が主な内容となっております。

議案第121号、平成25年度八峰町営診療所特別会計補正予算（第3号）は、193万5,000円を追加して、歳入歳出予算の総額を9,433万3,000円とするもので、歳入については、歯科診療報酬収入を追加して、歳出については、主に歯科診療所の運営に係る経費の追加であります。

議案第122号、八峰町沢目財産区管理委員の選任については、八峰町沢目財産区管理委員の佐々木一衛氏が平成26年3月2日で任期満了となることから、引き続き八峰町沢目財産区管理委員として選任いたしたく、議会の同意を求めるものであります。

以上、12月議会定例会でご審議いただく議案は13議案であります。

詳細については、各議案の提案の際に説明させますので、よろしくご審議の上、適切なご決定を賜りますようお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（須藤正人君） 議長報告につきましては、別紙報告書のとおりでありますので、朗読は省略させていただきます。

日程第4、発議第19号、八峰町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

議会事務局長の説明の前に、議会運営委員会委員長より、八峰町議会議員の定数等に関する議会の議員懇談会での経緯と結果について発言を求められておりますので、これを許します。佐藤議会運営委員会委員長。

○議会運営委員会委員長（佐藤克實君） 議会運営委員会委員長の佐藤でございます。

八峰町議会では、本年9月20日に開催された議員懇談会で議員定数の削減について会合を持ちました。議員個々の考え方を述べていただき、賛成・反対の立場での討論を行っております。その結果、賛成7名、反対7名となり、意見が分かれたところであります。

後日に再討論を行うこととし、10月28日には2回目の議員懇談会を開催し、無記名による投票の結果、賛成7名、反対7名の結果を得たことから、結論を得ない状況となりました。

意見の中には、同数ということは現状維持と捉えるものではないかなど様々な意見交換をいたしました。

八峰町議会として大同小異の立場をとり、方向としては削減ありきという理解の総意を見たところであります。

11月5日には3回目の議員懇談会を開催し、具体的に議員個々の考えを述べていただ